

学習・教育到達目標を達成するために必要な授業（必修）科目の流れ

学習・教育目標	授業科目名							
	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(A1)	基礎教育科目(◎) バイオロボティクス技術研修(◎)	基礎教育科目(◎)	基礎教育科目(◎)	基礎教育科目(◎)				
(A2)			技術者倫理(◎)					
(B1)	計算機工学(◎)	情報端末管理演習(◎)	プログラミング(◎)					
(B2)	線形代数学(◎) 微積分学Ⅰ(◎) 基礎数学(◎) 基礎物理(◎)	微積分学Ⅱ(◎) 解析幾何学(◎) 工業力学(◎)	電気工学概論(◎)	確率統計(◎) 電子工学概論(◎)				
(B3)	バイオマテリアル(◎)	生体解剖学概論(◎)	生体材料力学Ⅰ(◎) 生体機能学概論(◎) 生体流体工学(◎)		分子生体工学			
(B4)	図学(◎) 住環境カト技術(◎)	ロボット製図(◎)			ME総論(◎) 医用機器設計(◎) 医用機器 設計製図Ⅰ(◎)	医用機器 設計製図Ⅱ(◎)		
(B5)		ロボット工作(◎)	ロボット工作実習(◎) ロボティクス(◎) 制御工学Ⅰ(◎)	ロボティクス演習(◎) センサー工学(◎)	メカトロニクス(◎)			
(B6)					コンピュータシステム(◎)	コンピュータシステム演習(◎)		
(C1)		基礎物理実験(◎)			バイオロボティクス実験Ⅰ(◎)	バイオロボティクス実験Ⅱ(◎) 研究計画マネジメント 実習(◎)		
(C2)	外国語科目(◎)	外国語科目(◎)	外国語科目(◎)	外国語科目(◎)	外国語科目(◎) 機械技術英語(◎)	外国語科目(◎)	外国語科目(◎) 卒業研究(◎)	外国語科目(◎) 卒業研究(◎)
(C3)							卒業研究(◎)	卒業研究(◎)
(C4)							卒業研究(◎)	卒業研究(◎)

※赤字は JABEE 必修科目

表4 学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ

学習・教育 到達目 標	授 業 科 目 名								
	1 年		2 年		3 年		4 年		
	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
(A1)	*バイオロボティクス技術研修	新技術開発史							
	基礎教育科目								
(A2)				技術者倫理					
(B1)	*計算機工学	情報端末管理演習	*プログラミング	プログラミング演習	情報と職業				
(B2)	*基礎数学 *線形代数学 *微積分学Ⅰ *基礎物理 生物学概論 化学Ⅰ	代数学演習 *解析幾何学 微積分学Ⅰ演習 *微積分学Ⅱ *工業力学 地球生物学概論 □化学Ⅱ	微分方程式 工業数学 *電気工学概論	確率統計 微分方程式演習 物理学 *電子工学概論		初等幾何学			

(B3)	*バイオマテリアル	*生体解剖学概論	*生体材料力学 I *生体機能学概論 生体流体工学	生体材料力学 II 生体熱工学	生体材料力学演習 人間環境学 *分子生体工学			
(B4)	*図学 *住環境メカトロ技術	*ロボット製図	ロボット設計基礎	ロボット設計	*ME総論 *医用機器設計 *医用機器設計製図 I	*医用機器設計製図 II		
(B5)		*ロボット工作	*ロボティクス *制御工学 I	*ロボティクス演習 *ロボット工作実習 *センサー工学 制御工学 II	*メカトロニクス シミュレーション工学			
(B6)			情報ネットワーク	通信理論	言語処理 情報通信工学 *計算機システム	*計算機システム演習 マイクロプロセッサ応用	マルチメディア技術概論	
(C1)		*基礎物理実験		応用物理実験	*バイオリボティクス実験 I *研究計画マネジメント実習	*バイオリボティクス実験 II		
(C2)	外国語科目 (英語)					機械技術英語	*卒業研究	

(C3)								*卒業研究
(C4)						インターンシップ		*卒業研究

※ 修士課程プログラムの場合は1年及び2年のみ記載する。

※ 学士課程と修士課程を合わせた6年間のプログラムの場合は5年及び6年（修士課程）の内容を追加した表を作成する。

※ 修士論文研究等については、主要プロセス（調査計画、制作/実験、中間報告、報告書作成、報告書審査等）を記入し、関連する授業科目との関連を矢印等で示す。

表5 自己点検書添付資料の一覧表

(下記の番号 T01、T02、T03 に対する資料名は例示)

整理 番号	添付資料名
T01	学科案内の「育成すべき技術者像」関連部分抜粋
T02	教育改善年次報告書（過去5年分）抜粋
T03	

表6 実地審査閲覧資料の一覧表

(下記の番号 J01、J02、J03 に対する資料名は例示)

整理番号	実地審査閲覧資料名
J01	九州産業大学入学案内 FACE, 2004～2015 年度版
J02	学生便覧, 2004～2014 年度版
J03	工学部履修ガイド, 2004～2014 年度版
J04	工学部履修ガイド, 2014 年度版
J05	九州産業大学工学会誌「混沌」, 2005～2013 年度
J06	バイオリボティクス学科ホームページ
J07	成績チェックシートによる学生の学習・教育目標自己点検結果
J08	工学部 JABEE 委員会議事録
J09	バイオリボティクス学科会議議事録
J10	学科 JABEE 委員会および各種委員会議事録
J11	自己点検・評価報告書, 2003～2013 年度版
J12	自己点検・評価報告書 大学基礎データ集, 2003～2013 年度版
J13	(財) 大学基準協会による相互評価結果ならびに認証評価結果報告書
J14	授業評価アンケート結果集計表
J15	授業改善報告書
J16	工学部 FD 活動報告書「授業改善のために」
J17	ロボット工房ホームページ
J18	ロボメカ・デザインコンペ実施報告書
J19	卒業時アンケート集計結果
J20	九州産業大学ホームページ
J21	バイオリボティクス学科施設・学習環境に関するアンケート結果集計表

J22	バイオリボティクス学科卒業時アンケート結果集計表
J23	学生に配付する成績原簿
J24	学生面談記録
J25	学校建物構造用途別面積明細
J26	機械機器備品登録一覧
J27	バイオリボティクス学科設置申請書
J28	工学部拡大教授会議事録
J29	工学部 FD 委員会議事録
J30	教務委員会議事録

添付資料

整理番号と資料名を明記し、以下に順に収録する。

参考資料 プログラム関係数値データ (学士課程用)

		(なるべく過去6年間) 年度						
		2009	2010	2011	2012	2013	2014	
学生数情報	学部全学生数	488	602	588	522	575		
	学科やコースの一部をプログラムとして申請している場合	学科やコース全体への入学者数	35	58	29	51	41	41
		定員数	65	55	55	55	55	55
	申請プログラムへの入学者数あるいは配属者数		12	6	9	20	15	13
	他プログラムからの編入者数		0	0	0	0	0	0
	申請プログラムの全在籍者数		16	12	14	29	24	23
	プログラム修了者数		4	6	5	9	9	—
教職員情報	プログラム関係 専任教員数	14	15	14				
	“ 非常勤教員数	12	11	11				
	“ TA 数	3	4	8				
	プログラム関係のその他職員等の教育支援者数		6	6	7			
カリキュラム情報	卒業に必要な単位数		124					
	専門関係科目単位数		80					
	専門基礎関係科目（数学、自然科学、情報など）単位数		24					
	語学科目単位数		8					
	語学を除く教養関係科目単位数		12					
	デザイン能力に関する教育の割合		?					
	PBL（Problem Based Learning）などのグループ学習の割合		?					

※ 各項目については出来る範囲で記入いただき、記入の前提の補足注記が必要なものは欄外に記入してください。

※ 「デザイン能力に関する教育の割合」、「PBL（Problem Based Learning）などのグループ学習の割合」については、プログラムの教育全体に占めるそれぞれの割合を概略で示してください。これらの双方に該当するものについては、重複して算入しても構いません。また、この割合は、全体に占める単位数の割合でも時間数の割合でもよく、いずれか計算の容易な方法で大まかな数値を記してください。なお、ひとつの授業科目などの一部分のみが該当する場合は、その該当部分を単位数や時間数を換算して割合に参入してください。

※ この欄に記載していただいたデータは、JABEE が認定プログラムにおける教育改善の状況を示すためなどの目的で、個々のプログラム名がわからないように統計的に処理した上で公表する場合があります。